

動画解説まとめ 37 / 動画・音楽制作

YouTube制作の自動化とチャンネル設計

チューブキャストの実演から、台本・音声・映像・投稿をつなぐ仕組みを整理。手動作成と予約運転の違い、ニュースと日記の材料の違い、人が担うテーマ選びと改善をまとめました。

この動画の要点

開発者の上田さんが、YouTubeの台本作成から動画生成・アップロードまでをつなぐチューブキャストを紹介した動画です。ニュースの参照先を指定して台本を作る実演、BGMや背景・音声の設定、公開スケジュール、日記形式の動画を作る流れを整理しました。自動化で減らす作業と、人が選ぶテーマ・入力材料・改善点を分けて理解する資料です。紹介段階のツールであり、自動投稿の機能と収益化できることを同一視しない形でまとめています。

01 自動化の対象は、台本・音声・映像・アップロードをつなぐ制作工程。

02 ニュースは情報源、日記は本人の出来事という、台本の材料が必要になる。

03 BGM・背景・声・テロップは、チャンネルごとに設定できる例がある。

04 投稿作業を減らしても、テーマの選定や反応を見た改善は人が考える。

05 APIの利用許可に関する説明と、動画の収益化判定は分けて読む。

資料の使い方

動画の要点を読み返し、紹介した手順を実践するときにお使いください。本文の時刻を押すと、元動画の該当箇所を開けます。

元動画：【革命ツール初公開！】台本・編集・投稿すべてAI任せ！究極のYouTube自動化ツールを初公開します！【AI副業】

<https://www.youtube.com/watch?v=56S16Pccwz4>

1. 動画制作のどこを自動化するツールなのか

動画の該当箇所 2:36 / タップして開く

チューブキャストは、開発者の上田さんが紹介したYouTube運営ツールです。台本を作り、ナレーションと背景映像・テロップを組み合わせ、サムネイルやタイトルを用意してアップロードする工程をつなぐものとして実演されています。個々のAIで素材を作れるだけでなく、保存して次のツールへ渡す作業まで減らしたい、という開発の狙いが語られました。

最初の実演は手動モードです。管理画面でチャンネルを選び、動画作成から台本を作る指示を実行します。例では仮想通貨ニュースのサイトを情報源として設定し、取得した情報から台本を作成。画面にはサムネイル向けの短いタイトル、動画用のタイトル、読み上げる本文が出ています。

台本を見て問題がなさそうなら動画作成へ進み、作成した動画をアップロードする設定を有効にして処理を登録します。待つと、ナレーションと背景映像のある約3分の動画が完成し、YouTubeへアップロード済みになった例が示されました。所要時間は、その実演時の内容やサーバー設定に依存する個別の結果です。

- ・ 入力：チャンネルのテーマ、台本用の指示、必要な情報源。
- ・ 生成：台本、タイトル、音声、テロップを載せた動画、サムネイル。
- ・ 出力：動画の作成とYouTubeへのアップロード。

2. 背景・BGM・読み上げ方をチャンネルに合わせる

動画の該当箇所 6:17 / タップして開く

実演のBGMは、あらかじめ用意した音源を登録して使っています。管理画面のBGMファイルのアップロードから、自分の音源へ変更できる説明がありました。動画内では、自分で作った曲を使う案も出ています。背景についても、プリセットを選ぶ方法と自分で素材をアップロードする方法が紹介されています。

仮想通貨ニュースの例では、そのテーマに合う背景映像を事前に用意していました。別の例として、カメラを置いて景色を撮り、日記動画の背景に使う案も挙がっています。文章の内容だけでなく、同じチャンネルで繰り返し使う映像と音の雰囲気揃える設定です。

音声はGoogleの音声APIを使う設計として紹介され、男性・女性・中性的な声、ピッチ、速度、音量などを調整できる説明がありました。テロップは色や見た目を選び、公開・非公開などの設定も用意されています。これらは動画撮影時に示された仕様で、現在の画面や選択肢を網羅した操作手順ではありません。

- ・ 背景映像は、テーマに合うプリセットや手元の素材を選ぶ。
- ・ 音声の声質と速度を、聞きたい内容や視聴者に合わせる。
- ・ テロップの色・読みやすさと、投稿時の公開設定を確認する。

3. 予約運転では『いつ・何を集めるか』を先に決める

動画の該当箇所 12:19 / タップして開く

後半で紹介された自動モードは、公開スケジュールに沿って情報収集からアップロードまで動かす仕組みです。ニュースサイトのURLを台本用の指示に入れ、どの情報源を参考にするかを指定します。動画では、一つの情報源に加えて複数のニュースサイトを指定する使い方も説明されています。

公開スケジュールから新規スケジュールを作り、曜日や毎日の指定、時刻を設定します。実演では朝のニュースを想定して、毎日6時55分という設定例が示されました。決めた時間に一連の制作が始まることで、毎回ボタンを押す手間を減らす発想です。

手動モードで作った動画を確認する工程と、スケジュールによって処理を繰り返す工程は分けて理解すると分かりやすくなります。設定した情報源や指示によって、どんな内容が作られるかが変わります。自動化の前提となる材料と方針は、チャンネルを運営する人が用意するものとして実演されています。

- ・ 参照する情報源を台本の指示に入れる。
- ・ 公開スケジュールで、毎日・曜日・時刻などを設定する。
- ・ 同じ設定が繰り返し使われるため、テーマと指示の内容を先に整理する。

4. 日記動画は、本人の出来事を材料にする

動画の該当箇所 15:09 / タップして開く

日記形式の例では、運営するチャンネルを追加し、テーマとして日記を選びます。そこから日記用の指示を生成し、語り手の性別や一人称、話し方などを設定しています。実演では『落ち着いた口調で柔らかく話す』という方向を入れ、語り手の特徴を細かく設定すれば個性を出せるという話もありました。

ただし、日記ではニュースのように情報源を読ませれば材料が揃うわけではありません。上田さんは完全な自動生成が難しい面があると説明し、その日にあった出来事を箇条書きで入れて、ストーリーとして整える半自動の方法を示しています。寝坊や遅刻など、本人が渡した出来事を日記風の内容に変えるイメージです。

この違いは、チャンネルの形式を選ぶ際にも役立ちます。ニュースは更新される情報、日記は本人の体験が主な材料です。自動化の機能があるからといって、入力する材料まで不要になるわけではありません。自分が継続して用意できる内容は何かを考えたらうで、形式を選ぶ視点が得られます。

- ・ テーマを日記にし、語り手や話し方を設定する。
- ・ その日の出来事を箇条書きで入力する。
- ・ 入力した体験を基に、台本とナレーション動画へまとめる。

5. 自動化で空いた時間をテーマ選びと改善に使う

動画の該当箇所 20:03 / タップして開く

対談で繰り返し強調されるのは、どんな人に何の情報を届けるかというテーマ選びです。特にこのツールで作る動画は、ナレーションを中心に情報を聞いてもらう形式になりやすいと説明されています。映像の動き自体が見どころの作品より、ニュースを聞く、日記の話を楽しむなどの目的に合わせて考える内容です。

動画では、仮想通貨、政治・経済、スポーツ、芸能、AIなど、新しい情報が頻繁に出るテーマとの相性について登壇者が意見を述べています。一方、ハンドメイドのように最新情報だけが価値とは限らない分野では、同じ自動化の利点があるまま当てはまるとは限らないという比較もありました。これは登壇者の運用上の見解で、各ジャンルの成果を保証するものではありません。

立ち上げ時は再生が伸びなくても投稿を続ける負担があるため、その制作負担を減らす補助として使う考え方が示されています。反応が出てきたら、自分で撮った映像を加える、サムネイルをさらに工夫するなど、人が改善する余地も語られています。『自動化したら何も考えない』ではなく、制作以外に使える時間を増やす捉え方が実践上の要点です。

- ・ 自分のテーマは、情報を聞く形式で価値を伝えやすいかを考える。
- ・ 投稿後の反応を見て、続ける内容や改善する部分を判断する。
- ・ 手応えがある動画には、自分の映像やサムネイルの工夫を加える。

6. 自動投稿の許可と収益化の話を分けて理解する

動画の該当箇所 22:26 / タップして開く

あべさんからは、同じような内容を大量に投稿すると収益化の面で問題にならないか、という質問が出ています。上田さんは、最新情報を取得する設計で毎回の題材を変えられること、自動投稿に使うYouTube APIについて審査を受けたことを説明しています。APIの利用許可は、自動投稿の仕組みに関する説明として扱います。

ここで紹介されたAPIの許可を、個々の動画やチャンネルの収益化が保証された意味で読むことはできません。動画内にも、繰り返しの内容として収益化できない例への言及があります。本資料は対談の内容を整理するもので、現行のYouTube規約や、このツールで作る動画の収益化可否を検証した資料ではありません。

また、対談で挙げられた収益化済みチャンネルや売却事例は、文字とナレーションを中心にした動画形式の参考例として語られています。この発表段階のチューブキャストを使って得られた実績として一括りにはできません。自動で制作できることと、視聴者に選ばれて収益が生まれることを区別します。

7. 導入前に分かる範囲と、動画では扱わない範囲

動画の該当箇所 26:55 / タップして開く

動画はツールの発表と利用案内を兼ねています。有料サービスとしての予定価格、視聴者向けの割引、使い方を補足するセミナーなどが案内されますが、いずれも動画時点の内容です。本資料では、これらを現在申し込める条件として再掲していません。

APIの費用や音声の無料枠も個別の例として説明されています。ただし、利用モデルや使用量、ツール本体の料金を含めた総費用を固定する話ではありません。動画から学べる中心は、情報源・台本・音声・映像・投稿をつなぐ設計と、日記では本人の材料が必要になる違いです。詳しい初期接続や設定の全工程までは実演されていないため、導入手順をすべて補える資料ではありません。

実践の進め方

01 チャンネルのテーマと材料を決める

動画の話を実践順に整理しています。ニュースなら参照する情報源、日記なら自分の出来事というように、台本へ渡す材料を決めます。

動画 15:22

02 手動モードで台本を作る

管理画面でチャンネルを選び、動画作成から指示を実行します。生成されたサムネイル用タイトル、動画タイトル、台本を確認します。

動画 2:57

03 背景・音声・BGMを合わせる

自分の素材や用意された素材を設定し、声の種類や速度、テロップの見た目を選びます。

動画 13:53

04 動画作成とアップロードを実行する

台本を確認して動画作成へ進み、アップロード設定を指定して処理を登録します。完成した映像と音声を確認します。

動画 4:33

05 繰り返し運転と改善を考える

公開スケジュールで曜日や時刻を指定できます。反応が出た後は、映像やサムネイルを自分で工夫するという対談の考え方を参考にします。

動画 12:43

AIへの相談例

編集部が作成した活用例です。動画内の発言をそのまま書き起こしたものではありません。

【編集部による活用例・動画の逐語プロンプトではありません】この資料を根拠に、記載外の補足は区別し、私の状況を質問してから進めるようにしてください。私のチャンネル案、想定する視聴者、継続して用意できる情報や体験、制作に使える時間を聞いてください。その回答から、自動化できそうな工程と自分で材料を用意・確認する工程を分けて整理してください。収益化や現行の利用条件は保証せず、資料で分からない点を明示してください。

資料について

- ・本資料は、開発者によるツール発表・実演・販売案内を含む動画の字幕からまとめた要約です。
- ・機能、対応モデル、料金、APIの費用、割引、セミナーは動画時点の説明です。現在の提供条件やYouTubeの規約を検証したものではありません。
- ・対談内の収益化・売却事例と、今回紹介されたツール自体の利用実績は区別しています。自動投稿やAPIの利用許可は、収益化を保証しません。